

から毎時間の授業や課外活動を大事に
していきたい。

これは、私が教職一年目に、ある広
報誌に載せていただいた文章の一部で
ある。二児の父親となつた今も、この
考えに変わりはない。ごくあたりまえ
のことだが、学校や教師は子どものた
めにあり、その子どもの背後には、わ
が子に対するあつい願いがあることを、
理解しなければならぬと考えている
からである。もちろん、この考えは、
親に迎合するというのではない。か
けがえのない一人一人の命を大事にす
るということを教育の営みの基調とし
たいのである。

親は、常々、我が子の将来を案じ、
健康で幸福な人生を歩んでほしいと願
うものである。

今朝も、さわやかな秋風を全身に受
けながら机に向かっていると、A男の
母から電話をいただいた。

「少し熱があるみたいで、朝からぐず
ぐずしてんです。男らしくもつとシ
ヤキツとしてほしいんですけど……
(中略)……きょうの午後の体育は
様子を見て休ませてくなんしょ」

という内容のものである。このように、
電話や手紙をいただく時は、むしろ、
安心していられる。朝の児童の観察が
容易になるからである。

しかし、遠慮や多忙さなどによって、
学校への連絡を控える場合も少なくな
い。このことから、「この子の親で
あったら……」と、親が子を思う気持

ちで、謙虚に、一人一人の子どもに接
したいと思うのである。

ここ久保田の里は、自然に恵まれ、
人情味あふれる土地柄である。私が教
職一、二年目にお世話いただいた「い
わき市にちが荷路夫地区」との類似点が多い。
どちらも「ここは、あなたの生まれた
ふるさと」と言われても自然とうなず
けるのどかさがある。峠からは、清い
流れ、細い街道、狭長な田園風景が見
える。このような土地柄だからこそ、
親が我が子へ寄せる期待も大きく、地
域が学校教育へ寄せる期待も大きい
だろう。

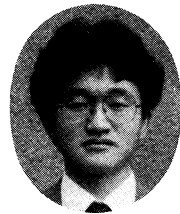
ふと、見上げると、A男が職員室の
中をのぞき込むようにしてにこにこし
ている。私が笑顔を返してやると、
「教頭先生、思いっきりサッカーやっ
て、いっぱい汗かいてから、みんな
でプールに入りましょう」

A男のまわりには、B男も、C子もい
た。私は、今朝の電話を思い起こして、
ほつとし、元気に返事をして外に出た。
私は、「子どもたちには、より確か
で、より豊かな、あらゆる力を」とい
う学校長のお考えと親の気持ちとを受
けとめながら、子どもと共に汗して、
涙し、心の底から喜び合える楽しい学
校づくりを進めたいと願うこのごろで
ある。

(柳津町立久保田小学校教頭)

ニユータイプ

獨 鈞 育



「今の子どもは、何を考えているの
かさっぱりわからない」「新人類」「ニ
ユータイプ、宇宙人」などという言葉
をよく耳にする。確かに、彼らの物の
見かたや行動、興味をもつ対象や方向
に首をかしげたくなることがしばしば
ある。しかし、本当に今の子どもは、
「宇宙人」と呼ぶほどに不可解な存在
なのだろうか。

こんな疑問を抱きつつ、新採用教員
として忙しい一学期を五里霧中で過ご
してきた。そこで、夏休みに入りこの
疑問に自分なりの答えをだしてみよう
と考えた。

親たちの共働き、放任主義のため正
しい躰を受けそこなつた。情報を処理
する能力が育っていないところにテレ
ビや雑誌から過剰な情報がとびこみ、
それらに振りまわされる。対人交渉は
苦手なのに、温かい人間関係をなによ

りも求めている。こうした姿が今の子
どもたちの一般的な姿で、一時代前よ
り遥かに生活しにくい状況にあると言
える。しかし、こうした環境を作り、
子どもを放置しているのは、親や私た
ち教師であり、彼を指して「わからな
い。新人類」などと呼ぶのは、あまり
に身勝手な無責任な考え方ではないだ
ろうか。

こうした視点に立つて考えるとき、
この子どもたちと学校生活をともにす
る教師にも、新しい型(ニユータイプ)
が必要になつてきたのではないかと思
う。

それでは、今改めて必要とされるタ
イプとはどんなタイプなのかを、私自
身の目指すべき理想の教師像も含めて
思いつくまに述べてみたい。

まず、教師自身の立場や名譽よりも
生徒のことを第一に考える人であるこ
と。生徒がこれからの人生を送ってい
く上で、今やつておかなくてはならな
いことを的確に指導できること。「だ
めだからだめなんだ」などと妙な理論
で頭ごなしに怒り、なぜ悪いのかを説
明しないのではなく、なぜ規則が生ま
れ、守ればどんな効果があるのかを説
明し生徒を納得させた上で反省を促す
人であること。激しく叱る際にも、必
ず生徒に対する愛情を持っていること、
どんな叱りかたでも、そこに温かなは
げましと愛情がなければ、教育効果は
望めないと思う。また、そのためには、
教師が生徒や地域社会から信頼を得ら